

ぜひ一条に心を込めて 信仰の元一日にたちかえろう

おつとめに勇み・信仰の喜びを伝え・ひのきしんに励もう

北海道教区報

第570号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話 011(561)-1148
FAX 011(561)-1190
tenrikyo.hk@gmail.com

印刷

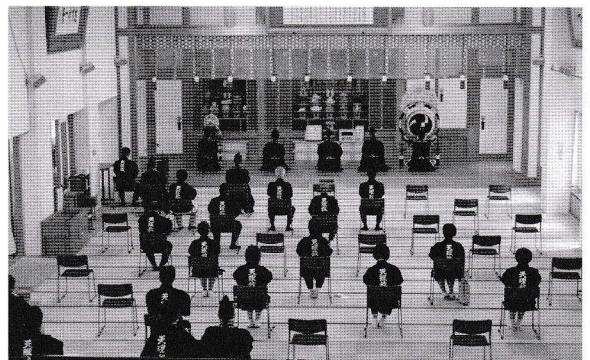
三浦印刷株式会社



●去る9月2日北海道教務支庁、第百回記念祭が執り行われました。大きな節目となる今年の記念祭は、およそ1年前より北海道管内の教会長、ようほく、信者を挙げて、次なる道へと向かう一里塚と定めて、新たな第一歩を歩みだすべく準備を進めてまいりました。しかし、思いもかけない新型コロナウイルス



の蔓延による社会状況の変化により、止むなく内容を縮小し日程も変更しての開催となりました。ついでには、コロナ禍に配慮し、遠距離の移動を極力抑え、密になることを避けるため、役割も最小限にとどめ、支



部長他教会長、ようほく、信者の方々のご参集を極力お控えたいだいての開催となりました。10時開式、西垣教区長による祭文奏上、座りつとめ。よろづよ八首を参拝者全員総立ちでつとめました。その後祖霊殿前にて教区功労者合祀慰霊祭が執り行われました。最後に教区長より講話があり、先月号に掲載致しましたが、第百回の記念祭について意義と今後の歩みについて話し解散しました。

天理教少年会公式 ユーチューブチャンネルを開設

みちのこチャンネル

親子でチャレンジ企画

ソング・ゲーム・クラフト・紙芝居

※お道の教を学びながら、家族のみんなが笑顔になれる

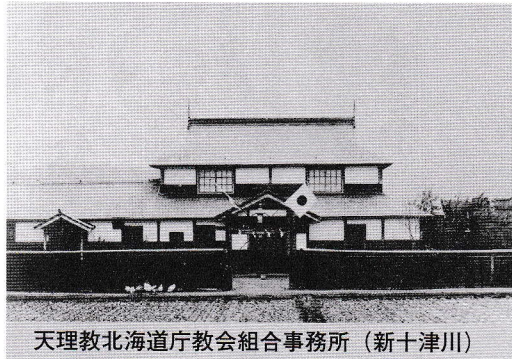
天理教少年会のHPより視聴できます

北海道教区のホームページ <<http://tenrikyohk.wixsite.com/tenrikyo-hk>> 教区報がご覧頂けます。

教区百回記念祭 に寄せて (その二)

教務支庁開設

初代教務支庁長となられた板倉先生が、明治38年に初めて渡道された折に、教会が置かれていた場所十数ヶ所を巡教されたが、その頃未認可を含めてまだ二十数カ所しかなく、十勝以東は一箇所もなかった。先生は北海道の中央部と見られる場所に、教会取締事務所を設置する適当な場所を探していた。幸い、滝川在の新谷和一郎氏(雨龍役員)宅の提供を受け、開設となった。それが2年後、明治40年の巡教の時には、新十津川に事務所を新築するという飛躍



天理教北海道庁教会組合事務所 (新十津川)

となった。

板倉先生の肚は、「世界一列というお道なのに、事務所が借家間借りでどうする。北海道の道は、ゆくゆくは一千ヶ所の名称を戴けるのも、遠い夢ではない。」というものであり、力溢れる言葉は、一同を鼓舞したただろう。

明治四十三年九月には、全国に教務支庁を置くことになり、改めて樺太を管掌下に納めて、天理教北海道教務支庁と、看板がかけ替えられた。

初代の主事は左記の十名で、先生の手足となり、時には先生の肚に入り込んで働かれたことであつた。

〈初代主事〉

西垣定喜(雨龍)、吉野慶助(上川)、山本長蔵(北海)、藤田好助(夕張)、山本鹿蔵(室蘭)、唐沢辰吉(北明)、更谷鶴松(北旭)、新谷延一(新十津川)、塩野谷岩次郎(北都)、後藤栄七(石狩)。

大正天皇行啓から移転へ

明治四十四年八月二十二日、まだ東宮であられた大正天皇の北海道行啓があり、この日札幌において、板倉支庁長を先頭に、全道からの三百の教師と、三百の

婦人会員が、一手一つになって奉迎申し上げるといふ、一大図譜が繰り広げられた。これを機会に、教務支庁の札幌移転の話



後列左より 吉野慶助(円内)、藤野竹五郎、新谷延市、福岡多作、三幣勝五郎、西尾勝蔵、森秀太郎
前列左より 塩野谷岩次郎、藤田好助、西垣定喜、板倉支庁長、山本鹿蔵、更谷鶴松、唐沢辰吉

となつていった。この事情で、道庁の所在地に教務支庁を置くべきことが痛感された。しかし、道北地区の教会長と道南地区の教会長が意見がまとまらず、いざに軍配を上げるか先生も苦悩された。ところがある夜、先生が訳の分からぬ上げ下しで、激しい痛みを伴う身上となられ

た。この先生の身上から、主事達が確執し合うのをやめ、考え直し、心を洗って先生に悩ませたことをお詫び申し上げると、身上に苦しむ先生のお身体も嘘のように全快し、教務支庁移転の話は、双方得心の上で、決定したのであつた。

大正六年六月、「札幌は北海道庁の所在地であり、交通の便も良く、今後の布教活動や教会事務を統括していくには、最適地である」と、板倉榎三郎・教務支庁長を芯とした主事達の意見がまとまり、札幌区山鼻(現在地)への移転となった。

北海道の道はまだ累進的に伸び拡がっており、大正五年に百五十一ヶ所だった処から、七年には百八十ヶ所に殖えていた。

若き真柱様のご来道

翌七年春、一帯に畑地が広がる区割りの所に、本館・十間に六間で二階建て、神殿・三間半の教務支庁舎が偉容を表した。「全道どこを探してもない普請」と言われる程、基礎にも襖の算木にも心配りが行き届いていた。

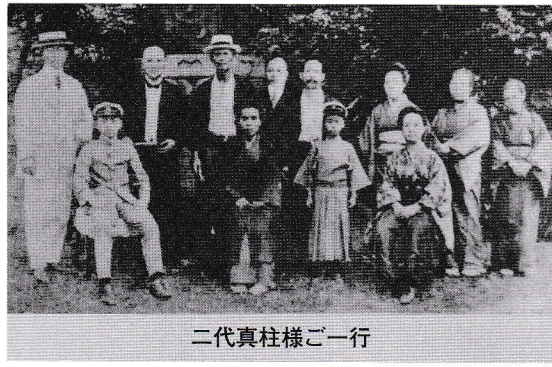
そして、この夏、「教務支庁移転建築落成奉告祭に、二代管長公(真柱様)が北海道へお下がり下さる」と決まり、四月に天理中学にお入りになった真柱様が、夏期休暇を利用して、東北・北海道を御見学になるといふ御一行を、受け入れる準備が慌ただしくも進んでいった。

御一行は、管長公二代真柱正善様・十四歳御母堂・中山たまえ様御嬢様・中山玉千代様十七歳山澤為造先生・真柱職務撰行者松村吉太郎・高安大教会長梶本宗太郎先生、板倉榎三郎支庁長、その他随行を入れ十一名であつた。

管長公を迎えるということ「は、「神様を迎える」という意気込みであり、まだその頃はおどろがえりにも数日間汽車に揺られ、また、費用の面でも簡単には行けない時代であつたため、はるばる北海道にお出ましくだされ、そのお姿を拝すことができるのであるから、信者達も感激し、大きな期待を寄せていたのである。

御一行は、八月三日に東京を発ち、東北に寄られて八日に函館、九日に小樽から札幌へ。札

幌駅頭には千二百名が参集し、歓喜のうちにお迎えした。(大正七年七月号みちのともより) 御一行の順路は旭川、帯広、網



二代真柱様ご一行

走、釧路、岩見沢、室蘭から函館へとまわって。宿泊なされた上川、夕張、室蘭の教会は、客殿を普請し、お迎えしたもので、各々の駅から人力車を連ねて教会までは黒山の人で、駅長以下が最敬礼して送ったという。

庁舎落成奉告祭

(道の友・大正八年十月号より)

「真柱様御一行のお入り込みも無事済ませた翌大正八年九月七日を選んで、落成奉告祭が勤められた。来賓としては、道庁長官代理、区長代理、地方有志

若干名、教師、教会長七百名が参拝した。

神殿に於いて支庁長祭主となり来賓だけを招じ入れ、祭式終わるや階下座敷に於いて一般参拝者に対し祝辞を述べられたり。祝辞は道庁長官代理、教会長代表、単独布教者代表、支庁職員代表の順にて最後に板倉支庁長の答辞にて式を終へしは十一時半。それより来賓、教師を饗応せり。

翌八日は講演会、午前八時に始まり講師は五名(中略)。準備については五間に六間の大天幕を張りて食堂となし、イルミネーションを以て不夜城となしたり。

顧みれば明治四一年、新十津川に組合事務所建築の奉告祭の時には公認教会数一九箇所なりしに、一二年後の今日は公認教会数一九六箇所に達し、数万円を要せし建築も首尾よく成功したるは喜びの感に堪えず。」以上かくして大正七年八年の慶事を記念して大正十年九月七日第一回北海道教務支庁記念祭が執り行われた。

【参考文献】

- ・みちのとも
- ・板倉槌三郎伝

■過日ある信者さんの御宅へ 伺った時、奥さんから次のような事を聞かされた。

「私の伯母さんは年をとっても身だしなみもよく、外出時にはきちんと化粧をする人です。その伯母が歯医者さんに行った時『口紅を拭いて頂けますか』と云われたので、ハイと云って口元をとがらせながら口笛を吹くしぐさをしたらしいですよ。

いや、聞いて大笑いしました。」 この伯母さんは、「口紅を拭く」を「口笛を吹く」と間違えた訳である。これはひどい方だが年を老いると耳の老化のせいだったり、よく聞かずに早とちりだったりで間違つて聞きとる事は多くなる。

早い話が私達夫婦の会話も最近は大変である。長年一緒に生活をしてきたので、お互いに何を話しても当然わかるものとして話すものだから話の主語が飛んでいるのである。だから懸命に話をしても、誰の話なのか、また何のことを云っているのか、とにかく話の主語を聞き取らなす意味が通じないことがある。

教理随想 三十八

聞き上手

木岡 昭

まあ、こうした事は笑い話ですむことであるが、人様との会話となれば大変なことである。それには話すことも大切だが聞き上手になる事は人生に於いてもっと大切な事であろう。

私の友人の一人であるが、彼は自分の信条として他人に対し

るに足らない話でも出来る限り「うんうん」と聞いてきた人がある。結果として彼の人生には人が寄り、何事にもつながってくる理が働いてきていた。

私達は自分の思いに反することや、自分の損得の計算に合わない場合に出くわすとすぐ切つてしまいがち。しかしどんなに思いに反することでも、心の隅に相手のこれからの心待ちを思いやってみていく心は人だすけの一つであろう。私の知人で人の愚痴を聞いて後に大成した人も知っている。他人の話を上手に聞く事は、他人の人生を尊重することであり、必ず心の徳を頂戴出来る。

自分から縁を切らないようにしていた。切る心は自分の運命も切っていくものだと思っていた。従つて同時に大変な聞き上手である。世の中には話し上手な人はたくさんいるだろうが、それに対して聞き上手な人は案外少ないかも知れない。彼は退屈な話でも、自慢話でも、また取

私達の目指す陽気ぐらしは神も共に楽しむ陽気ぐらしである。それは人は皆、兄弟姉妹の自覚を持つて仲よく暮らす事である。それは他人の人生を心から尊重する事でもある。聞き上手は、自分のつなぎ心が養われて結局は自分がたすかかっていくのである。

陽気チャンネルご案内



DVD

頒価【1枚260円】
何枚でも送料は140円です。
※このDVDはユーチューブ

の視聴の仕方、チャンネル登録などがわかりやすく動画で紹介されています。又公開しているお話の中から6篇が収録されています。

●月次祭の祭典講話に ●各会の例会の基調講演に
●講社祭のお話 ●おたすけのツール ●信者さんへの配布用 ※各支部には無料で1枚ずつ配布されていますのでご活用下さい。

※このDVDにコピーガードはかかっておりません。

「天理教の教えチャンネル」で検索すると、布教部のHP「心のエッセンス」なるほどから始まる新しい一歩や、未信の方を対象とするにいがけ動画がご覧になれます。

中島みゆき 第二詩集

四十行のひとりごと

定価(本体1,300円+税) 好評発売中!

道内主要都市18書店で取り扱い中!

- 札幌市 中央区MARUZEN&ジュンク堂書店札幌店
- 札幌市 中央区 紀伊國屋書店札幌本店
- 札幌市 中央区 紀伊國屋書店オーロラタウン店
- 札幌市 中央区大垣書店マルヤマクラス店
- 札幌市 北区コーチャンフォー新川通り店
- 札幌市 豊平区コーチャンフォーミュンヘン大橋店
- 札幌市 清田区コーチャンフォー美しが丘店
- 函館市 函館栄好堂丸井今井店
- 函館市 函館鳶屋書店
- 小樽市 紀伊国屋書店小樽店
- 旭川市 ジュンク堂書店旭川店
- 旭川市 コーチャンフォー旭川店
- 釧路市 コーチャンフォー釧路店
- 釧路市 リライアブルブックスルート38号店
- 帯広市 岡書帯広イーストモール店
- 北見市 コーチャンフォー北見店
- 根室市 リライアブルブックス根室店
- 釧路町 リライアブルブックス運動公園通り店

新会長さん紹介

(令和2年9月26日お運び)
函館支部
北照誠分教会(兵神)



松岡英郎氏 (69歳)

十勝支部
公道分教会(洲本)



清水一郎氏 (46歳)

けいじばん

◎法律に関わる諸問題で相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁書記・渡部まで(連絡下さい)。
◎毎月26日に本部月次祭遙拝式を行なっています。

※12月は教区報を休刊致します。

訃報

- ・竹田笑子様 3月4日出直 (92歳)
- ・馬追分教会前会長夫人(南空知支部)
- ・瀧内義則様 3月16日出直 (67歳)
- ・豊平分教会長 (白豊支部)
- ・金輪ツヤ子様 3月17日出直 (96歳)
- ・正輪分教会 前会長 (俱知安支部)
- ・横山運造様 3月18日出直 (81歳)
- ・美理分教会長 (網走支部)
- ・網木年子様 3月30日出直 (94歳)
- ・誠綱分教会前会長夫人 (釧根支部)
- ・阿辺道夫様 4月24日出直 (91歳)
- ・鐵森分教会長 (俱知安支部)
- ・山下 登様 5月10日出直 (85歳)
- ・東士分教会前会長 (天塩支部)
- ・大橋美枝子様 5月12日出直 (98歳)
- ・由仁分教会前会長夫人 (南空知)
- ・高畑千恵子様 6月5日出直 (95歳)
- ・愛幌分教会長 (旭川支部)
- ・菅原萬三様 6月27日出直 (86歳)
- ・知来別分教会長 (宗谷支部)
- ・川口スエ様 7月4日出直 (95歳)
- ・巖望分教会前会長夫人 (紋別支部)
- ・木村正人様 7月7日出直 (77歳)
- ・道春分教会長 (十勝支部)
- ・齊藤綾子様 7月19日出直 (93歳)
- ・神恵内分教会長 (俱知安支部)
- ・半澤テツ子様 8月5日出直 (96歳)
- ・北野桜分教会前会長 (北見支部)
- ・松木サチエ様 8月24日出直 (101歳)
- ・斜里分教会前会長 (網走支部)
- ・反保美津子様 9月7日出直 (90歳)
- ・釧正分教会前会長 (釧根支部)
- ・齊藤恵子様 9月12日出直 (73歳)
- ・東苗穂分教会前会長夫人(札幌東支部)
- ・笹田道秋様 9月7日出直 (81歳)
- ・巴港分教会長 (函館支部)
- ・上杉ナミ子様 9月14日出直 (85歳)
- ・新明分教会前会長夫人 (空知支部)
- ・須見満州夫様 10月6日 (83歳)
- ・陽水分教会長 (旭川支部)
- ・北海道教務支庁日誌抄
- 6月1日 たすけ推進会議
- 2日 支部配布物発送
- 13日 道の教職員
- 26日 本部月次祭遙拝式
- 7月1日 たすけ推進会議
- 16日 道庁提出書類確認作業
- 20日 道庁提出
- 26日 本部月次祭遙拝式
- 8月1日 たすけ推進会議
- 18日 教区報編集会議
- 26日 本部月次祭遙拝式
- 29日 道の教職員
- 9月2日 第100回教区記念祭
- 4日 中南支部例会
- 26日 本部月次祭遙拝式
- 10月1日 主事会議
- 17日 道の教職員
- 20日 教区報編集会議